

## 第3回共同プロジェクト等応募要領（2023年8月開始）

共同プロジェクト等は、教員の研究力の向上と研究活動の活性化をさらに押し上げるとともに様々な分野を融合した研究等を将来に向けて育成し、最終的に科研費獲得及び学外の競争的資金の獲得につなげることを目的としています。

つきましては、第3回共同プロジェクト等への、積極的な応募をお願いいたします。

### I. 応募の内容

#### 1. 応募から研究開始までのスケジュール

応募書類の締め切り	2023年5月12日（金）14：00 厳守
書類審査・ヒアリング審査	2023年5月中旬～6月にかけて
採否連絡	2023年7月中旬（予定）、研究代表者宛に連絡
研究開始	2023年8月～（予定）

#### 2. 応募資格について

- ① 本学に所属する専任教員であり、研究代表者として応募できる方。
- ② APRIN の e ラーニングプログラム(eAPRIN)を研究グループ全員が修了していること。

#### 3. 募集区分

##### ◆ 区分 B1

対象	個人またはグループ
研究期間	1年（2023年8月1日～2024年7月31日）
研究費・採択件数	上限200万円・2件以内*
応募条件	① 研究終了後、令和7年度(2025年)科研費基盤Bに応募すること。 ② 応募予定の学外の研究助成金と研究課題・研究内容が異なること。

##### ◆ 区分 B2

対象	個人またはグループ
研究期間	2年（2023年8月1日～2025年7月31日）
研究費・採択件数	各年上限200万円・2件以内*
応募条件	① 研究期間中、または研究終了後に科研費基盤B以上の種目に応募すること。 ② 応募予定の学外の研究助成金と研究課題・研究内容が異なること。

#### ◆ 区分 A

対象	グループ（異なる2学部以上の教員3名以上で構成すること）
研究期間	2年（2023年8月1日～2025年7月31日）
研究費・採択件数	各年上限350万円・2件以内*
応募条件	① 研究期間中、または研究終了後に学外競争的資金(NEDO・JST・AMED等)に応募すること。 ② 応募予定の学外の研究助成金と研究課題・研究内容が異なること。

\*採択件数と研究費は、応募件数により調整する場合があります。

#### 4. 応募書類について

応募書類は、下表のとおりとします。

応募区分	提出書類
B 1	①応募区分 B 計画調書(Excel)
B 2	②応募区分 B 研究概要(Word) (科研費基盤 B の計画調書を流用いたします)
A	応募区分 A 計画調書

提出期限：2023年(令和5年) 5月12日(金) 14:00 厳守

提出先：rsc-gp@stf.teu.ac.jp（実践研究推進課）宛にメール添付にて提出ください。

#### 5. 応募にあたっての注意事項

- ① 締め切り後の応募書類の差替えはできません。
- ② 応募書類提出後に応募を取り消す場合は、速やかに実践研究推進課までご連絡ください。
- ③ 審査基準(Ⅱ、審査方法等について)を十分にご確認のうえ、応募書類を作成してください。
- ④ 研究代表者および研究分担者として、応募可能な件数は、1件のみとします。

## II. 審査方法等について

共同プロジェクト等の審査は、提出された応募書類を基に書類審査をし、ヒアリング審査対象者を選定します。ヒアリング審査に選定されなかった場合は不採択となります。

書類審査とヒアリング審査を総合的に勘案して採否を決定します。なお、審査は共に、学外の審査員により行います。ヒアリング審査対象者は、後日実践研究推進課より、ヒアリング審査の日時・実施方法について、メールにてご案内します。

### 1. 審査基準について

書類審査及びヒアリング審査は、以下の審査基準により行います。

(審査基準)

- ① 各応募区分の趣旨に沿った研究計画および適切なロードマップとなっているか。
- ② 将来的に、科研費または学外競争的資金の獲得を目指す研究内容であるか。
- ③ 研究内容を達成するための遂行能力（研究業績も含む）を有しているか。
- ④ 研究を達成するために必要かつ十分な研究者で構成されているか。

### 2. 研究の実施と成果の活用について

- ① 研究を推進するための人材(大学院博士後期課程学生など)を確保して行うことが望ましい。
- ② 研究成果は、国際的な学術誌（Scopus の対象となる雑誌）などに発表し、研究の国際化を推進してください。
- ③ 本学が開催する研究推進活動（研究成果発表会、中小企業振興公社や東京商工会議所などの所管事業など）やホームページなどでの研究成果の公表に協力してください。

### 3. 研究費の使途について

共同プロジェクト等は、装置や機器の購入を目的としたプロジェクトではなく、新たな分野へのチャレンジや共同研究を推進するためのプロジェクトですので、研究費は、本プロジェクトの趣旨に沿った使用計画をたててください。また、年度末での予算消化と見なされる購入や研究計画書に未記入の用品・備品等の購入は認めない場合があります。また、使用ルールは、原則、科研費の使用ルールを適用します。

### 4. 研究報告書の提出について

共同プロジェクト等は、1年目が終了する時点での中間評価または研究終了後の最終評価を行うために、それぞれ、研究報告書を提出していただきます。複数年度の研究に関しては、進捗状況により、研究計画の見直しや支援の中止という対応をする場合があります。

### 5. 問い合わせ先

実践研究推進課 [rsc-gp@stf.teu.ac.jp](mailto:rsc-gp@stf.teu.ac.jp) (内線 2 2 1 1、2 2 1 2)

※共同プロジェクト等に関する問い合わせは、必ず研究代表者が行ってください。